

第17回飯田市
地域史研究集会

飯田・下伊那の蚕糸業と地域社会

2019
0907-08 日

写真=天龍社資料(飯田市歴史研究所蔵)

■会場
飯田市役所 C棟3階会議室 (飯田市大久保町2534)

●会場案内



飯田・下伊那の歴史を彩る近現代の蚕糸業の歩みは、養蚕や製糸を通じて、地域の人びとのくらしと深く結びついていました。今回、蚕糸業の盛衰と地域社会とのかかわりをテーマに取り上げます。

1日目は、蚕糸業の歴史を、飯田・下伊那と他地域の比較、また地域における生活との関わりなど、いろいろな点から検討します。また、2日目には、蚕糸業をめぐる文化の継承をめぐり試みなどから、飯田・下伊那の未来を考えます。



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山538
TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

■主催
飯田市・飯田市教育委員会

■資料代 500円 (2日間共通) ※高校生以下は無料 / 事前申し込み不要

■関連展示 (8/24-9/26)
飯田市立中央・鼎・上郷図書館にて開催

第17回飯田市地域史研究集会

飯田・下伊那の

蚕糸業と地域社会



写真川菅沼博氏所蔵

■プログラム

2019年9月7日(土) 10時〜17時

講演 日本蚕糸業の地域類型―長野と群馬の組合製糸を中心に―

石井寛治(東京大学名誉教授)

講演 下伊那の蚕糸業と地域構造

田中雅孝(飯田市歴史研究所)

報告 天龍社の盛衰と蚕業技術員の機能

太田仙一(飯田市歴史研究所)

質疑応答・全体討論

※昼食後に飯田市立緑ヶ丘中学校合唱部による演奏があります

2019年9月8日(日) 9時30分〜12時30分

報告 飼うから始めるお蚕さまプロジェクト―阿智村全村博物館構想―

大石真紀子(阿智村役場)

報告 蚕種の保存に使われた天然の冷蔵庫・風穴

片桐一樹(伊那谷自然友の会)

報告 建物原簿史料からみる大正期の飯田町

福村任生(飯田市歴史研究所)

報告 戦地からの1014通の手紙―川路村の教師に届いた軍事郵便―

上河内陽子(飯田市歴史研究所)

■交通案内

〔飯田まで〕

高速バス 各バス会社にて予約

(東京から) バスタ新宿 ↓ 飯田駅前 4時間

(名古屋から) 名鉄バスセンター ↓ 飯田駅前 2時間

自家用車 中央自動車道

(東京から) 八王子IC ↓ 飯田IC 3時間30分

(名古屋から) 名古屋IC ↓ 小牧JCT ↓ 飯田IC 1時間30分

鉄道 JR飯田線

(豊橋から) 特急ワイドビュー伊那路 2時間30分

(辰野から) 2時間

〔会場へのアクセス〕

飯田駅 ↓ 徒歩15分

飯田IC ↓ 車で15分

■会場周辺図

